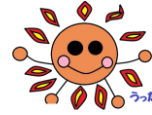




自ら輝きつつ  
仲間を照らし  
未来を創る  
「太陽の子」

# きらめく 簗木

令和6年3月23日 文責 校長 福田 啓子



## 唐津市立簗木小学校閉校式（3月23日）

### 【校長あいさつ】

簗木小学校の閉校にあたり、校長として一言ごあいさつを申し上げます。

本校の歴史をひも解きますと、明治八年設立の岩屋小学校、明治十八年設立の浪瀬小学校が統合し、明治二十七年に簗木尋常小学校が誕生しました。昭和二十二年に簗木小学校と改称し、現在に至っています。その間、町立校から市立校へと変わり、新校舎ができ、本山小学校との統合がありました。昭和三十四年には、児童数千八百人を超える県内有数のマンモス校であった本校も、昭和の後半から児童数が減少していき、そして、今、歴史と伝統のある簗木小学校の幕が閉じようとしています。五千余名の同窓生の皆様の母校に向ける心情を思いますと、惜別の念、いかばかりかと御推察申し上げます。

本校は、豊かな自然環境と地域に根ざした教育活動に力を注ぎ、小規模校ならではの温かい雰囲気にも包まれた中、子供たちの心と体、学びを育ててきました。これまでに体力づくりの推進、伝え合う力の育成と充実、アクティブラーニングの推進等を行い、その成果を市内外に広めていきました。当時の先輩教師や地域の方々の教育に向けた精神は、脈々と今に受け継がれてきました。

保護者の皆様、地域の皆様には子供たちの健やかな成長のために、学校行事や教育活動に格別な御支援・御協力と御尽力を賜りました。様々な行事が子供たちの楽しい思い出となりました。皆様の多くが、本校の卒業生でいらっしゃいます。この一年は、皆様お一人お一人にとっても、かつて通われた簗木小学校に思いをはせるものになったのではないかと思います。皆様とともに同じ方向を向いて歩めたことは、私たち教職員にとって大変幸せなことでした。改めて感謝申し上げます。

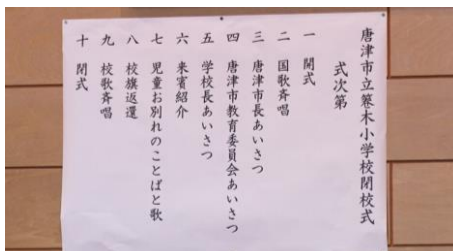
私たち教職員は、簗木小学校最後の年を迎えるにあたり、子供たちが簗木小や簗木校区に誇りと自信を持って新たな一步を踏み出すことができるよう、教育活動を進めてまいりました。児童が主体となる授業、実行委員会形式による集会・大会運営、多彩な異学年交流、と児童が自ら気づき考え行動する姿を見ていただけたことと思います。

さて、児童の皆さん、いよいよ簗木小学校とお別れする日が近づいてきました。今年度は皆さんにとって節目の年でした。一年間、皆さんの様子を見てきましたが、節にたくさんの栄養を送り、自分をぐんぐん伸ばすことができました。また、簗木小学校の合言葉「自ら輝き、仲間を照らし、未来をつくろう」の実現に向け、様々な場面で力を発揮しました。私は、あなたたちの一部は「簗木小の学び」と「簗木校区の人たちの温かさ」でできていると思っています。四月から通う建物も学校の名前も変わりますが、「簗木」はいつもあなたの胸の中にあります。あなたたちは簗木の誇りと希望です。竹の節目のように、また、簗木の「簗」の字が意味するように、しなやかにたくましく成長し、大いに活躍してくれることを信じています。

結びになりますが、これまで長きにわたり簗木小学校の発展に御尽力賜りましたご来賓の皆さま、卒業生・地域の皆様、本校をこれまで支えてこられた校長先生や歴任教職員の皆様、保護者の皆様、御指導・御支援をいただきました唐津市ならびに唐津市教育委員会など全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、子供たちの未来が一層輝かしいものでありますよう心からお祈り申し上げて挨拶いたします。

令和六年三月二十三日

唐津市立簗木小学校 校長 福田 啓子





市長あいさつ



教育長あいさつ



校長あいさつ



児童代表のお別れのことば



全校児童による歌「大切なもの」



校旗返納